

## 令和7年度学校評価報告書

令和8年3月31日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長 松田 素寛

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 5間口完成及び管理職変更に伴う校内体制と教育活動への適切な対応</li> <li>(2) 中学生に目指され、保護者から信頼される学校</li> <li>(3) 地域の教育資源の活用とその成果の還元</li> <li>(4) 探究活動の充実と授業改革</li> <li>(5) 自己指導能力の育成</li> </ul> |
|---|

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目   | 自己評価の結果  | 学校関係者評価の結果   |
|--------|--|--|
| 1 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートを刷新し、自由記述欄を追加することで、改善のポイントや方策がより明確になった。</li> <li>・ICT活用は浸透しつつあるものの、生成AIの活用を含め更なる研修や取組が必要だ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> <li>・よりよい学習指導ができるように改善努力されている。</li> <li>・生成AIの活用は十分に精査し、学校職員に対する研修求める。</li> </ul>   |
| 改善方策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改革、ICTや生成AIの有効活用、生徒の主体的で探究的な学びの促進を柱に継続的に研究、研修、視察等の取組を行う。</li> </ul>  |  |
| 2 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね落ち着いた生活をしているが、校内外において、場に応じた言動がとれない場面が見受けられた。</li> <li>・社会環境の急激な変化により、指導の内容や手段を模索する必要があると感じた。</li> <li>・生徒が安心して学校生活を送れるように、生徒への指導や教員の共通理解をさらに進めるよう努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> <li>・いじめは限りなく0件になるように取り組んでもらいたい。</li> <li>・教職員へ気軽に相談できる環境作りは評価できる。</li> <li>・生徒の校外での行動も意識させたい。</li> </ul>   |
| 改善方策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の日常的な言動について、教職員間での共通理解のもと指導を継続し、安心して生活できる環境整備に努める。</li> <li>・校則や決まりの部分を見直し、時代に即した内容にアップデートしていく。</li> </ul>   |  |
| 3 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部を中心に、3年間を見通した計画のもと講習や講演会を実施し、生徒の進路実現に結びついている。</li> <li>・模試分析会などで、生徒の状況や課題を共有し、その後の指導に役立てた。</li> <li>・生徒の学びが変容していく中で、講習のあり方や実施方法について検討を行った。</li> <li>・入試対策だけでなく、幅広い視野を持つための体験的活動やスキルを磨く時間を確保する時間ことも進路指導の大きな役目である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は極めて十分である。</li> <li>・目標通りの3年間を見通した進路指導が行われたことを評価する。</li> <li>・年内入試への対応を進めていることは評価できる。</li> <li>・大学入試だけではない、幅広い視野の育成機会を設けていることを評価する。</li> <li>・進路指導は、盤石であると認識している。</li> </ul> |
| 改善方策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な進路指導計画や体制をさらにブラッシュアップし、年内入試にも対応できるよう研究していく。</li> </ul>   |  |

|                |   |   |
|----------------|---|---|
| 4 健康安全指導       | <ul style="list-style-type: none"> <li>津波及び火災についての避難訓練を1回ずつ年2回実施している。実際に津波警報が出たときに、訓練が役に立った。地域住民の避難があったときの対応が課題である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> <li>・自主的な清掃活動が浸透している。</li> <li>・訓練の重要性は増しているため、今後も訓練等を充実させて欲しい。</li> </ul>   |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に対応した危機管理マニュアルを整備する。</li> </ul>  |   |
| 5 組織運営         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員減に伴い部活度や講習の在り方を検討した。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> </ul>  |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の専任配置と創意空加配による増員を活用し、課外活動の充実も図る。</li> </ul>   |   |
| 6 研修等          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXハイスクール事業、地域教職員研修を活用し、先進校視察および公開授業、授業改善研修を実施した。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> <li>・ICTや生成AIへの取組が充実し、評価できる。</li> </ul>  |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の利用拡大に向けて校内研修および管内ICT活用DX交流会の充実を図る。</li> <li>・生成AIパイロット校の指定を目指し、教育活用の研究を行う。</li> </ul>   |   |
| 7 保護者・地域住民との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度からの取り組みである学校祭においてPTAと連携したバザーを実施できた。</li> <li>・高大連携（室蘭工大との連携）や、栄高塾（地域の方による職業講話）などにより、大学や地域の方との連携を深めている。</li> <li>・ホームページやnoteの活用により、学校生活・生徒の活動の紹介ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は極めて十分である。</li> <li>・探究活動の取組などで特に連携を深めることができた。</li> <li>・今後ますます学校・同窓会・PTA三者の連携の充実は重要となる。</li> <li>・大学との連携もさらに強化し、生徒の進路実現に繋げて欲しい。</li> </ul> |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭におけるPTAバザーについては、方法を検討しながら継続していきたい。</li> <li>・地域の人材を活用した取組をさらに活発にしていきたい。</li> </ul>   |   |
| 8 施設・設備        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易クーラーは、冷房としては不十分であり、冬の寒さ対策も含め、夏と冬にジャージ登校の期間を設けた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> </ul>  |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な維持管理から、必要な整備を進めていく。</li> </ul>  |   |
| 9 その他          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の現状や地域からの期待を踏まえて、重点項目等を設定できた。</li> <li>・各種相談窓口を設置し、教育相談体制を強化した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね十分である。</li> <li>・教員が減少する中でも先進校への派遣や部活動での活躍、各種コンテストコンクールなどへの出場後押しなど、教職員の熱力を感じた。</li> </ul>  |
| 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策、自殺予防には引き続き、教職員一丸となり、全勢力を傾ける。高校生ステップアッププログラムにより教育相談の充実を図る。</li> </ul>  |   |
| 公表方法           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページ上での公開</li> <li>・PTA総会及び保護者懇談会等での説明</li> </ul>   |   |